

主日礼拝

2026年1月25日 10時20分～

司式:

奏楽:

「権威ある新しい教え」

『申命記』は、約束の地を前にしたイスラエルに、モーセがこれまでの荒れ野の旅を振り返って、説教を行うかたちで記されています。約束の地では多くの誘惑や試練があります。しかし律法という神の御言葉が告げられており、これに従うによって、神がいつも共にいてくださることを味わうことができます。律法には神の権威が込められているからです。

『マルコによる福音書』では、汚れた靈に取りつかれた男が「ナザレのイエス、構わないでくれ」と叫びます。汚れた靈とは神から人を引き離すものです。つまり聖書が告げる「罪」なのです。汚れた靈は人を罪へと誘います。私たちも御言葉や信仰生活が重荷に感じられることもあります。神から離れて自分勝手に生きていきたいという思いになり、主イエスに「構わないでくれ」と思ってしまう時があります。しかし神に背くことは滅びへの道へと向かうことになります。主イエスの教えに従うことこそ罪から救われる道であり、神による幸いへとつながるのです。汚れた靈は主イエスが「神の聖者」であると知っていたので「構わないでくれ」と願ったのです。しかし主イエスには汚れた靈を追い出す神の権威があり、「黙れ、この人から出て行け」と叱りになると、汚れた靈はその男に痙攣を起こさせ、出て行くのでした。神に立ち帰る時には痛みが伴います。

しかし主イエスの教えに従うなら、神の救いによる大きな喜びをいただくことができます。

《神の招き》

前奏 『深い愛により(賛美歌283番)』 J. ダンスタブル

招詞 ダニエル書7章27節

賛美歌 教会福音讃美歌501

《神の言葉》

祈祷 聖靈の照らしを求める祈り

聖書 申命記30章11～15節 (旧約 314頁)

マルコによる福音書1章21～28節 (新約 61頁)

子ども説教
交説詩編
詩編29編1～11節 (33頁)賛美歌 403
説教 「権威ある新しい教え」 八木浩史牧師

祈祷 賛美歌 508

《感謝の応答》

信仰告白 使徒信条

献金 献金当番

祈祷 主の祈り (週報表紙、ホームページ掲載)

《派遣》

頌栄 25

祝福

報告

後奏

礼拝当番:

(役員:)

献金当番:

映像:

音響: